

アンケート2017 Q&A集

Q1：郵送された資料を紛失しました。

A1：書類紛失の場合は、anzen2014@jasect.jpまで施設名とお名前を記入の上、ご連絡をお願いいたします。ダウンロード先とパスワードをご連絡致します。

Q2：アンケートの回答用のパスワードがわかりませんか？

A2：郵送にて送付させていただきました、「人工心肺ならびに補助循環に関するインシデント・アクシデントおよび安全に関するアンケート 2017 ご協力をお願い」に同封の「人工心肺ならび補助循環に関するインシデント・アクシデントおよび安全に関するアンケート 2017 への回答方法」にパスワードが掲載してあります。どうしてもわからない場合は、anzen2014@jasect.jpまで施設名とお名前を記入の上、ご連絡をお願いいたします。

Q3：今回、施設担当者ではない者が入力することは許可されるのでしょうか？

A3：回答することは可能です。

Q4：アンケート結果送信後に入力ミスに気がつきました、どのようにすれば訂正できますか？

A4：再度入力して送信すると、同一施設の回答が複数存在することになりますので、お手数ですが、anzen2014@jasect.jp宛に、アンケート結果訂正希望のメールを施設名、回答者名をご記入の上送信をお願いいたします。担当者より、返信させていただきます。

Q5：誤って2度アンケートに回答した場合はどのようになりますか？

A5：Q4と同様に、同一の施設が2回アンケート回答結果を送信したことになりますので、施設名とお名前を記入の上、お手数ですがその旨をanzen2014@jasect.jpまでご連絡をお願いいたします。

Q6：データは一括で入力することになっていますが、中断もしくはタイムアウトになった場合はどのようにしたら良いでしょうか？

A6：この場合、回答結果は送信されていませんので、再度アンケート入力の上送信をお願いいたします。送信が正常に完了された場合は、受信完了のメールが送信されますのでご確認をお願いします。

Q7：アンケート回答後、送信完了しましたが、JaSECTからの自動返信メールが届きません。

A7：JaSECTサーバ上に結果が送信されているか、担当者が確認いたします。お手数ですが、anzen2014@jasect.jpまで、お名前、施設名を記入の上ご連絡をお願いします。

Q8：郵送先の訂正をお願いしたいときはどのように手続きをすれば良いですか？

A8：次回の送付先の変更を希望される方は、anzen2014@jasect.jpへご連絡お願い致します。なお、メールの件名には「郵送先変更」と記してください。メール本文には、「施設名」「役職」「宛名」会員の場合は「会員番号」、非会員の場合は「非会員」と記して送信して下さい。

Q9：アンケートに関する承認が取得できなかった場合に回答は可能でしょうか？

A9：承認されていない回答はアンケート結果に含めることができません。承認が取得できない場合は、承認されなかったと回答して頂き送信して下さい。

Q10：「問1」の人工心肺を行っていない場合でも問1以降の問題に回答するのでしょうか？

A10：問1でいいえと回答して頂き、第2章補助循環について（問34）に進み回答をお願いいたします。

Q11：「問4」の送血ポンプについて小児症例と成人症例で違う場合にはどのように回答すればよいのでしょうか？

A11：例えば、小児症例ではローラーポンプ、成人症例では遠心ポンプを使用する場合には、症例により使い分けているとご回答下さい。また、成人症例のみ

の場合でも、普段はローラーポンプを使用しているが脳分離体外循環を行う際に遠心ポンプを使用しているにも症例により使い分けているとご回答下さい。

Q12：「問5-1」人工心肺回路について小児症例と成人症例がほぼ同数の場合で人工心肺回路が異なっている場合はどのように回答すればよいでしょうか？

A12：ほぼ同数の場合は、成人症例でご回答下さい。また、問5-2についても成人症例でご回答下さい。

Q13：「問6」インシデント・アクシデント件数に関して同一症例で2回以上発生して場合はどのように記載すればよいですか？

A13：1症例で2回以上のインシデント・アクシデントが発生した場合は、それぞれの件数を記載してください。

Q14：「問7-4」人工心肺装置のインシデント・アクシデントに関して代替品への交換とはどのようなことですか？

A14：人工心肺装置の数台所有しており装置の交換や故障したポンプのみ交換、圧力計の交換などがこれに該当いたします。

Q15：「問8-4」人工肺のインシデント・アクシデントに関して経過観察とはどのようなことでしょうか？

A15：例えば人工肺入り口圧が普段より高い異常であったが人工肺の交換や回路一式の交換など行わなかった場合が該当いたします。

Q16：「問30」の緊急時即座に対応できるとはどのようなことですか？

A16：開心術を行っている同一室内ではなく、すぐに対応できるよう人工心肺準備室や前室などに準備していることを指しております。

Q17：「問34」のPCPSやECMOなどの補助循環を行っていない場合でも問34以降の問題に回答するのでしょうか？

A17：問34でいいえと回答して頂き、【確認】に進み回答をお願いいたします。

Q18：「問4 2-4」カニューレのインシデント・アクシデントの補助循環の断念とはどのようなことですが？

A18：カニューレを挿入することができず補助循環を行わなかったことを言います。

Q19：「問4 8」補助循環回路への血液浄化装置の取り付けについて血液浄化の送血および脱血のどちらかを接続した場合はどのように回答したらよいですか？

A19：送血および脱血のどちらか一方でも取り付ける場合は、直接回路に取り付けるを選択して下さい。